

## 親子の巣づくりを支援しました

令和2年11月16日  
広島北部森林管理署

我が国の木材需要量は、約 8,200 万 m<sup>3</sup> (平成 30 年) で、そのうち国産材が占める割合は 36.6% (国産材自給率) となっています。今後も木材需要量は 8,000 万 m<sup>3</sup> 台を推移するとみています。一方、令和 7 年度には国産材自給率を現在の 36% から 50% と見込んでいることから、次世代を担う子供たちに、森林に大切さのほかに、木材利用の重要性を伝えていくことが重要となっています。

広島北部森林管理署では、11 月 15 日木材利用の重要性を醸成するための取組として、国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所と共催で親子による巣箱づくりを行いました。巣箱づくりの冒頭、署長から「生活の中での木材利用を進めることが大切。特に国産材利用を進めていくことが重要。巣箱づくりで木材に親しみを持ってもらいたい。」と挨拶しました。



巣箱づくりの親子

巣箱づくりには、6 家族 (うち子供が 8 名) が参加し、講師の指導の下、スギ板を材料に巣箱づくりに挑みました。



慣れない手つきで鋸を使う子供



親子合作の巣箱

広島北部森林管理署では、巣箱づくり材料を提供するとともに、当日スタッフとして職員3名が参加しました。

国産材の良さをPRするための森林環境教育に、広島北部森林管理署では、これからも引き続き積極的に取り組んでいきます。